



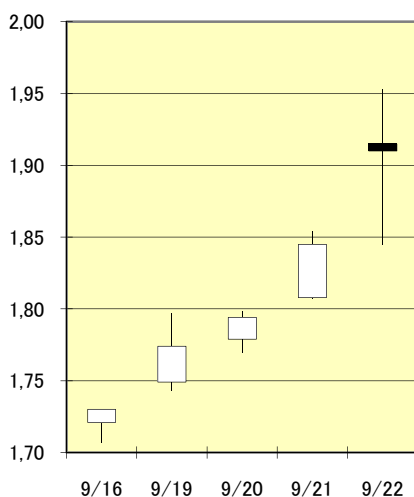
ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

1. Market Rate

			9月16日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	1,7300	1,7740	1,7940	1,8450	1,9100	+0,0650
	USD/YEN	Spot	76,79	76,65	76,48	76,50	76,30	-0,20
	EURO/USD	Spot	1,3796	1,3621	1,3699	1,3567	1,3462	-0,0105
	REAL/YEN	Spot	44,39	43,21	42,63	41,46	39,95	-1,52
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	2,96	2,72	2,76	2,83	3,63	+0,80
		1Year(p.a.)	3,22	3,12	3,13	3,17	3,86	+0,69
	Real Interest	6MTH(p.a.)	11,05	11,01	11,03	11,07	10,95	-0,12
		1Year(p.a.)	10,73	10,70	10,77	10,85	10,73	-0,12
Stock	Bovespa		57.210,11	57.102,78	56.378,63	55.981,90	53.280,28	-2.701,62
Bond	EMBI+(bp)		230,00	245,00	239,00	254,00	280,00	+26,00
	Global 40		136,550	135,750	135,500	134,500	134,2500	-0,2500

*これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



U\$/R\$(2010/1/4~2011/9/22)



2. 市況、トピックス (As of set-22)

【リアル大幅安、中銀大規模介入実施】

本日の為替相場はU\$1=R\$1.9150にてオープン。
FOMC声明において米国経済の下振れリスクが指摘されたことを背景に欧州株価が大幅に下落する中、リスク回避の動きからリアルは寄り付きから急速に売られる展開となった。早々に1.95台へ軟化した後、当地中銀が急激なリアル安を回避する目的でスワップによる大規模な介入を実施、直後からリアルは急反発、1.84台半ばへ買い戻された。株価についても寄り付きから軟調に推移、午後にかけて54千ポイントを割り込んだ。朝方発表された当地失業率、米景気先行指数は予想比良好な結果となったものの特段材料視はされなかった。午後に入ると根強い世界経済の不透明感を背景にリアルは再び軟化、引けにかけて1.91近辺へ下落するとその後は同水準で揉み合いとなり、結局終値としては2009年7月以来の水準となるU\$1=R\$1.9100にてクローズ。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。